7/24～ 自然の中で仲間と成長！
曽爾宿泊体験合宿

国立曽爾青少年自然の家で「曽爾高原宿泊体験学習」が行われ、町内の小学５・６年生19人が参加しました。子どもたちは、シニア・ジュニアリーダー（町子ども会連絡協議会）の指導のもと、仲間と協力し自然の中で活動に取り組みました。

8/5 鑑識にチャレンジ！
警察体験教室

青垣生涯学習センターで「警察体験教室」が開催されました。天理警察署の協力のもと、鑑識体験を中心に警察のお仕事を紹介していただきました。貴重な体験に見学の保護者からも質問が飛び交い活気あふれる教室となりました。

8/14～ 全国大会への出場を報告
表敬訪問

・松川恵宥さん（左から２人目）
　第38回全国グラウンド・ゴルフ交歓大会出場
・田中悦子さん（左から３人目）
　国民スポーツ大会公開競技（女子の部）出場
・岸本かずえさん（左から４人目）
　国民スポーツ大会公開競技（女子の部）出場
・月岡麗子さん（左から５人目）
　第37回全国健康福祉祭岐阜大会出場

大國杏さん（天理高校１年生）
全国高等学校総合体育大会水泳競技大会出場

全国大会への出場を報告するため、さまざまな分野で活躍される人が高江町長らを表敬訪問されました。大会へ臨む選手に、町長から激励の言葉がかけられました。

8/20 お金の使い方を学ぶ
親子で楽しく学ぶおこづかい講座

青垣生涯学習センターで、近畿財務局職員による「おこづかい講座」が開催されました。参加者らは、お金の使い方を楽しく学べる体験型すごろくや貯金箱づくりなどを楽しみました。「お金の使い方がよくわかり、使い方に注意しようと思った」などの声が上がっていました。

8/29 心に響く合唱のタベ
タぐれコンサート

町役場アトリウムで、田原本中央合唱団による「夕ぐれコンサート」が開催されました。「上を向いて歩こう」「うみ」などの曲が歌われました。子どもたちと一緒に歌うコーナーもあり、元気な歌声がホールいっぱいに広がりました。

町長メッセージ

Vol.18

未来にツケを残さない持続可能な田原本を目指して

町長活動記録

財政健全化に向けた大きな一歩！誰のための行政か

令和６年度決算を議会に認定いただきました。振り返れば、約１年半前に町長に就任させていただき、就任日から１週間で予算を編成せねばならず、大変厳しい財政状況を踏まえて取捨選択をした予算でした。そして、１年かけて、追加的な取組として、子どもや家庭への支援に重点を置く「こどもまるごとプロジェクト」や全国初の水害対策（貯留機能保全区域）、物価高騰対策としての地域商品券の配付など新たな取組を実施してきた１年でありました。また、行財政改革の結果として、財政状況を示す４指標全てが改善し、直近10年で最も大きな黒字幅を確保することができました。

私たちが考えなくてはならないことは「今だけよい田原本」ではなく「まだ生まれていない将来の住民にとってもよい田原本」であります。すなわち「未来にツケを残さない持続可能な田原本」でなくてはなりません。時代は流れ、住民ニーズも多様化する中で、例えば、ヤングケアラーや不登校などの課題が社会全体で向き合うべきものとして認識されてきている中で、そこに集中的に資源（人やお金）を投下する場合には何かを止める（効率化する）必要があります。

全ての資源には限界がある中、何かを始めるには何かを止めるという当たり前の営みをこれからも進めなくてはなりません。それが責任ある行政の姿です。町長でも議員でも、波風を立てず人気取りだけを考えれば「現状維持」と「バラマキ」が最善手です。しかし、それは責任ある態度とは言えません。これからも責任ある行政の実現に全力で取り組みます。住民の皆さん、そして、この素晴らしい田原本を担ってくれる将来の住民の皆さんのために。（決算の詳細は２ページから）

防災減災もさらに前進！

防災減災に係る取組も強化しています。昨年度から始めた防災ひろば（防災訓練）に加えて、届出避難所制度の新設（９ページ）、民間連携による非常用電源の確保や奈良県初のワンコインセンサの設置（下記に記載）、そして来年３月には防災拠点機能を有するインクルーシブ公園が完成します。皆さんの日常をしっかりとお守りするため、これからも取組を強化してまいります！

最新の町行政情報をお届け

町政トピックス

おしゃべりランチ

町長とざっくばらんに会話をしながら、お昼ごはんを楽しみませんか？

日時　11月７日㈮
　　正午～午後１時
場所　町役場２階町長会議室
対象　町内在住・在勤・在学者
定員　５人（応募多数の場合抽選）
申込方法
下記QRコードから
問　秘書広報課
☎34-2069

災害時に電力供給できる車の貸与に関する協定

奈良トヨタ㈱と「災害時における外部給電可能車両等の貸与に関する協定」を締結いたしました。

これにより、災害時にハイブリッド車などの外部給電可能車両を借り受けることで、避難所などでの電力供給が可能となります。

冠水しやすい道路・水路にワンコインセンサを設置

浸水センサ表示システム（国土交通省）

町内の冠水が発生しやすい道路・水路５ヵ所に「ワンコイン浸水センサ」を設置しました。

これは浸水状況を検知するもので、リアルタイムで水位状況を把握し、豪雨時の避難行動支援などにつなげていきます。